

# 第44回富山県育成会大会 (となみエリア大会)を開催しました!

日時 平成28年6月5日(日) 会場 クロスランドおやべ



式典での「手をつなぐ母のうた」は、となみ総合支援学校、となみエリアの皆さんにリードしていただきました♪

# 手をつなぐ おやべ

第161号

富山県手をつなぐ育成会  
富山市安住町5-21  
富山県総合福祉会館内  
TEL 076-441-7161  
FAX 076-441-7255  
mail toikusei@minos.ocn.ne.jp  
HP <http://toyamakusei.jp/>

発行責任者  
平野 幹 夫

みなさんの会報です  
よく読みましょう

— 守る 人権 明るい未来 —



午後からは、堀江まゆみ先生による基調講演とシンポジウムを開催。  
本人大会にも多数の参加がありました。



## 速報!!

全国手をつなぐ育成会連合会  
「権利擁護セミナー」が  
11月8日(火)、富山で開催決定!

テーマは誰もが気になる  
「高齢化」です。



・宮西 聡 (深明園 施設長)  
・木下 範子 (セーナー苑 わかくさの丘 施設長)

感謝状

多年にわたり知的障害のある人たちの福祉向上に貢献され、育成会活動の推進に寄与された功績を称え、2名の方に感謝状が、3名の方に表彰状が授与されました。

表彰

おめでとう  
ございます



・小西 邦子 (砺波市庄川町)  
・山元 正気 (富山市大山町)  
・山元 裕子 (富山市大山町)

表彰状

今大会は、となみエリアの会員の皆様を中心に、準備・大会運営にご協力いただきました。また、本人大会でも、県内各施設・事業所の職員様を始め、地域の方々にご支援いただき、暑い中でしたが、参加者一同、大変楽しく過ごすことができました。皆様、ご支援ご協力をいただき、ありがとうございます！

— なくそう差別 守ろう人権 —



大会式典



ご来賓の皆様



歓迎の言葉  
小矢部市 桜井市長



本人の会代表  
坊坂さん



四方大会長の挨拶

法律や条例ができたからと言って、差別や偏見がすぐになくなるものではありません。これを機に、社会の理解が幅広く得られるよう、さらに団結して力強く活動を進めていきます。



大会決議 朗読  
となみエリア 田嶋さん

わたしたちのことを決める時は、わたしたちぬきで 決めないでください。わたしたち自身の思いを、よく聞いてください。



本人大会決議文朗読  
谷井さん、串岡さん、坊坂さん

— 運転は 心の広さの バロメーター —

# 県大会 全体研修会 (午後)

## 「みんなで学ぼう、合理的配慮ってなんだろう?」

4月1日の、「障害者差別解消法」と「県条例」の施行に伴い、「合理的配慮」という言葉をよく目にしたり、聞いたりするようにになりました。

今回は、暮らしの場、就労の場、教育の場など、身近な事例から、「合理的配慮」について学び、理解を深める機会としました。

### ◆基調講演 堀江まゆみ 氏 (白梅学園大学 教授)

「皆さんに宿題を出します。このあと帰ったら、こんなことが大事なんだよと、「合理的配慮」について、それぞれ10人の人に伝えてください。500人の人が、10人ずつ伝えれば、5000人に伝わります。それが育成会の役割です。」と、始まった、堀江先生の基調講演。

「障害者差別解消法」と「合理的配慮」について、いろいろな事例を基に、大変わかりやすくお話ししていただきました。

みんなで 守ろう 子どもと 老人

「虐待防止法」や「差別解消法」の成立などを踏まえ、障害者権利条約が批准され、法整備が進展しました。

制度が活用されれば、障害者の権利は更に護られ、暮らしやすさにつながっていきますが、法律ができて良かったね、で終わってしまっただけでは、十分な効果を発揮しません。

これらの法律の施行は、障害への理解啓発活動を、どんどん進めていくチャンスでもあるので、今後は、私たち自身がよく制度を理解し、どう生かしていくべきか考えていきましょう、とお話しされました。

また、目の前にいる障害のある人に対して、どうしたらいいのか、どう対応したらいいのかからない...といった、障害を知らない、理解不足ということが、結果的に「差別」になってしまっていることがあるそうです。

そこで、各地の親の会による、啓発活動の取組みをご紹介いただきました。

警察や交番、公共交通機関、医療機関、コンビニや商店街、消防、救急など、地域の中で理解あるキーパーソンを掘り起こし、育てる活動です。障害特性や、対応を記したハンドブックを持参して説明するなどし、知的障害について正しく理解してもらうことにより、互いにwinwin(相互に得のある良好な関係)となること。

また、これから大事なものは、街の中で生きる、将来を担っていく「子供たち」に向けた啓発活動を進めていくことだと、強調されました。



「アドボカシー」(代弁活動・意思決定支援) という単語を覚えてくださいね!

自分の意思を表現しにくい障害のある人たちの代弁者として、社会に向けて伝えていくことは、育成会の役割。

どんな人たちのかな? どう困っているのかな? 何をしたらいいのか? : 相手の立場を、自分の視点で考えられるよう、向き合いますようにと、結ばれました。

さて、県大会から約2か月、皆さんは、何人の方に「合理的配慮」について、伝えましたか?

### ◆シンポジウム

コーディネーターに村上満氏(富山国際大学 教授)、シンポジストには、児島紀子氏(となみ総合支援学校校長)、境富廣氏(育成会員・社福手をつなぐとなみ野職員)のお二人、堀江先生には引き続き助言をいただきました。

### 〈児島氏：教育の現場から〉

支援学校では、以前より、本人、保護者の思いを聞きながら、個別支援計画に反映させてきたそうです。

また、障害特性に合わせて、音や刺激を緩和する工夫やスペースづ

### 相手の立場を、自分の視点で考えられること

堀江まゆみさんより、障害のある人たちが、街の中で安心して暮らすための、障害者差別解消法と合理的配慮について、わかりやすくお話ししていただきました。

ほとんどの人は、差別はいけないと思っているが、差別が障害への理解不足に起因する場合も多いので、障害者の特徴に合わせた合理的配慮が必要になってくる。犯罪から知的障害者を守るため、「安全ネット」を結成したり、警察との連携がカギというところで、ハンドブックを作成し交番に配布するなど、これまで親の会が行ってきた、様々な活動が紹介されました。

また、次の世代の子供たちへのメッセージとして、障害理解絵本が紹介されましたが、内容を聞いて、大変胸が熱くなりました。

次世代の子どもたちに、合理的配慮とは、「相手の立場を自分の視点で考えられることだよ。お互いWINWINになることを喜

### 南砺市 西部博代・加藤博子

「べることだよ。」ということ、伝えなくてはいけないと思いました。シンポジウムは、村上満氏の絶妙なコーディネートで進みました。

となみ総合支援学校・児島校長からは、支援学校では、「学習環境の工夫」、「意欲を持てる工夫」など、日々、子どもたちのために取組んでいることを、映像を基にお話しされました。

境さんは、事業所職員の立場から、地域の中学校と交流により、お互いを知ることによって理解が深まったこと、また、障害を持つ子の父親の立場からは、親が抱え込むことなく、子ども自身に、いろいろな経験をさせることが、将来の生きる力につながることをお話しされました。

来月(7月)の参議院選挙について、選挙や投票場での合理的配慮や好事例について質問が出るなど、考えさせられることの多いシンポジウムとなりました。



### 〈境氏：就労の現場から〉

エルハート城端・立野原分場では、農作業を行う中で、地元・城端中学校の生徒と一緒に、サツマイモの苗植え、管理・収穫、チャリティ販売、調理実習という活動を行っているそうです。

初めは、障害のある人たちに対する関心が低い中学生たちですが、共に活動を続けることで、

くり、やり方や手順を目で見ても理解できるよう、イラストや写真で表示するなど、それぞれが意欲を高め、自分に自信を持てるよう一人ひとりに合わせた環境づくりを、スライド画像と合わせて、お話ししていただきました。

「障害を持った人が、「かわいそうだから、何かをしてあげる」ではなく、本当に誰でもみんな楽しめる、みんなが安心して生活できることが大切だと思った」という感想を持つように。

障害のある人と、実際にふれあって知ることによって、理解が深まったとのことでした。

質疑応答では、7月の参議院選挙が近いということで、投票所等における、障害者に対する合理的配慮の事例について質問があり、堀江先生より、東京・狛江市での、障害者向けの演説会や模擬投票の例を紹介されました。(今年の「手をつなぐ」6月号に詳細があります。)

今後、身近な良い事例やアイデアを集めて、地域の人に紹介することなどから、共生社会づくりを進めていきたいと思います。

最後に、村上先生から、ひとりひとりに合った工夫や支援、配慮を、みんなで考えていきたいと思います。の言葉で研修会をしめくくられました。

# 本人大会

|      |  |   |
|------|--|---|
| 第1部会 | ・仕事について<br>・健康について   | <合同ワークショップ><br>・将来の理想の暮らしトーク<br>・さいころトーク<br>・みんなにインタビュー |
| 第2部会 | ・趣味について<br>・療育手帳や<br>金銭管理について  |   |
| 第3部会 | <レクリエーション><br>第1部：ミュージックケア、エアロビクスなど<br>第2部：みんなでいろんな遊び<br>(パラバルーン、ポンポンじゃんけん、<br>お手玉あそびペッタラペッタンなど) |   |

## 第1部会

第1部会では、「仕事」についてが盛り上がったようです。県大会では毎年、「趣味」と人気を二分するテーマです。

参加者の思いや本音が、ドンドン飛び出したので、一部ご紹介します。それぞれ、自分の仕事にとても誇りを持って取り組んでいるようです。皆、元気に発表してくれました。お給料の話になると、「もう少しほしいなあ」という声が多かったようでした。

**お給料に満足していますか？**

満足しています！  
もうちょっとほしいです。  
年に2回のボーナスが楽しみです！  
ちょっと不満。  
微妙…

— おたがいに 気づかう心で 明るい社会 —

## 仕事で 楽しいことは？

職員さんにほめられること  
飲み会！  
みんなと仲良く仕事できること  
いろいろな商品をあつかうところ

## 仕事で づらいことは？

細かい仕事。重たい荷物。  
仕事が終わらない  
仕事が少ない  
お昼休み時間なのに、おしゃべりできない  
まちがえて、怒られたり、注意されたりする時



## 今の仕事を 続けたいですか？

今後は、お年寄りの世話をする介護職をしたいです。そして、いつか結婚をして、子育てをしてみたいです。  
大変ですが、頑張りたいです。  
他の仕事もやってみたい  
わかりません

## 第2部会

第2部会では、「金銭管理」についての、参加者の意見をお届けします。お小遣いについては、足りているという答えが多かった一方、無駄づかいをしないように気をつけているという声もありました。

## 第3部会

第3部会はレクリエーションでした。今年もたくさんの方々が参加があり、会場は少々手狭になってしまいましたが、皆さん、体を動かして、楽しく一日を過ごしました。

**あなたの「お金」は 誰が管理していますか？**

自己管理しています。  
お金は母親が管理しています。ツタヤと、ローソンのカードは自分で持っています。  
きょうだい  
両親です。助かります。  
キャッシュカードは自分で、通帳は両親が管理しています  
財布の中身は自分



## 本人大会に参加して 高岡市 串岡達也



今年は、小矢部市で県大会が開かれました。自分は、育成会大会の式典で本人決議文を読みました。とても緊張しました。

式典のあと、本人大会に合流し、第2分科会に参加しました。テーマは、「趣味」についてと、「金銭管理・療育手帳」についてです。今、自分は、年金は親に預けています。福祉定期預金にして、更新は自分でしています。今はこのままでもいいですが、将来は誰かに管理してもらおうと思っ

ています。

りよういく手帳については、使い方についていろんな情報を聞けました。カードになれば便利に使えるという意見もありました。

午後からのワークショップでは、サイコロトークで「行ってみたい国」が出て、「できたらイギリスに行ってみたいです」と答えました。

来年の県大会は、東海北陸大会となります。本人大会は、どんなふうにするかと、今から考えています。来年の富山県大会を、みんながんばろうと思いました。

**ご協力・ご指導 ありがとうございます！**

今年も本人大会では、県内施設・事業所職員の皆様、ボランティアの方々に協力いただき、楽しく過ごすことができました。またレクリエーションでは、おやべスポーツクラブ、アクティブ・キッズの皆様にご指導いただきました。一日、どうもありがとうございました。

# 平成28年度 富山県予算に対する要望回答

— 子がまねる 親の正しい 歩き方 —

毎年、県当局及び県議会自民党県連政務調査会に対して、「予算要望書」を提出し意見を述べる機会をいただいております。今回、県議会自民党県連政務調査会からいただいた「平成28年度予算要望」に対する回答の中からいくつかご報告します。全体回答については、各支部長さんに送付していますので、必要な方は、支部長さん、又は、事務局へお問い合わせください。

今後とも、法律や条例に基づく取組を通じて、きめ細かな施策の展開を図ってまいります。  
(障害福祉課)

## 県条例に基づき、わかりやすいガイドラインづくりをはじめ、地方公共団体職員対応要領の作成や良い配慮事例の収集・PRなどを通じた、知的障害者理解啓発の推進

障害者差別解消法及び「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が本年4月に施行されることから、28年度においては、①日常生活や社会生活に関する分野別に、特に配慮すべき事項を定めた「富山県障害者差別解消ガイドライン(仮称)」の周知、②差別に関する相談体制の整備、③差別解消施策の審議や紛争解決を行う「障害のある人の相談に関する調整委員会」の開催、④共生社会について考えるフォーラムの開催、などを実施することとしている。

県では、「特別支援学校ふれあい交流活動事業」を実施し、学校間や地域の人々及び居住地の学校との交流活動を通して、障害のある子どもたちの社会性・経験領域の拡大を図るとともに、地域の人々に障害のある子どもとその教育の正しい理解と認識を深めること等に努めている。事業内容については、学校間交流、地域交流に関することから、文化活動や地域のボランティア活動を通しての交流等、様々な面で活発な交流が行われるよう、事業にかかる費用を予算の範囲内で支給するなど支援している。  
居住地校交流については、実施についてのお知らせを県下のすべての小中学校に配付し、事業の理解啓発に努めるとともに、実施校における交流及び共同学習の一層の推進を図っている。  
(県立学校課)

## 重度障害者の緊急時の一時預かりや必要な時に利用できるよう、ショートステイの整備推進と支援員に対する障害特性に関する理解啓発研修や適切な支援

国は、障害者ができる限り地域において自立した生活を送ることを基本とし、施設入所者の移行を図っており、その受け皿となるグループホームの整備を重点的に進めているところであり、新たな入所施設の整備は極めて厳しい状況である。

平成28年1月に開院した富山県リハビリテーション病院・こども支援センターでは、重症心身障害児専用の居室や重症児の家族の病氣、一次的な休息等に対応するための専用の短期入所病床を確保するとともに、新たに放課後等デイサービスなど通所事業に取り組むこととしている。また、黒部学園等においても、相談や短期入所、日中一時支援など障害者の地域生活を支援する機能の充実を図っている。さらに、重症心身障害児(者)などの重度障害者の地域生活の充実を図るため、重症心身障害児(者)への支援方法や対応の注意点を学ぶ研修、実施指導等を行う「重症心身障害児(者)在宅サービス提供体制整備推進事業」を実施している。

今後とも、重症心身障害児(者)などの重度障害者の地域生活の充実を図るため、県内の事業所に対して、短期入所や通所事業等による受入れの働きかけを積極的に行うなど、在宅のセーフティネット機能の充実に努めてまいります。

【重症心身障害児(者)在宅サービス提供体制整備推進事業費

1,000千円】

(障害福祉課)

— ひとりひとりが 考える 実践活動 —

## 障害のある人の災害時への避難対応策等の確立、及び災害時に支援学校が生徒の緊急避難場所等として活用できるような体制整備

災害に備えた取組みが、発災時に実際に機能するためには、県や市町村の防災訓練において、障害者等の要配慮者と支援者の双方が参加し、実践的な訓練をすることが重要であることから、県の防災訓練はもとより、各地域において要配慮者と民生委員等の支援者の双方が参加した実効性のある防災訓練が実施されるよう、市町村に働きかけるとともに、障害者団体等の協力を得ながら、多くの障害者の参加を促してまいります。

なお、平成24年度、25年度に国の補助金を活用して整備した避難スペース(3ヶ所)を利用し、障害者や地域住民等が一体となった避難訓練を各圏域のモデル事業として平成26年度から実施しており、28年度も引き続き実施していく。

【在宅障害者が学ぶ避難訓練モデル事業費 646千円】

(障害福祉課)



持ち出し品は大丈夫ですか?

# 役員・支部長・相談員 合同研修会

講演① 岡田千秋氏、土田敦子氏 (県障害福祉課 広域専門相談員)

講演② 杉田尚美氏 (県障害福祉課 自立支援係長)

事例発表 ◆氷見支部 小川隆さん ◆となみエリア 尾崎順子さん

平成28年6月25日(土) 呉羽ハイツ

今回は、日々いろいろな悩みや相談を受ける機会が多い、役員・支部長、相談員の皆さんを中心に、県条例と相談体制について、また、最新の障害福祉施策の動向について学び、理解を深める機会としました。

### 講演①

「障害を理由とする差別解消の推進に向けて」

県広域専門相談員の岡田さんより、そもそも、なぜ、この法律や条例が必要なのか、何が「差別」にあたるのか、差別された時、差別を感じた時、どうしたらいいのか等をポイントに、お話ししていただきました。

自分は差別だと感じたけど、相手側の立場にたったら仕方がないことかもしれないと思ってみたり、人に話をしたら、そんなの当たり前、よくあること、と言われてしまったら、このような経験は誰にでもあると思います。

このように、差別についての考え方や感じ方は、人それぞれ違いがあり、立場や状況によっても捉え方は異なり、心の問題だけでは解決しません。

— 曲り角 とまる習慣 待つしつけ —

なぜ、なくならないのでしょうか？無知・無理解・偏見から、「差別的」でなくても、結果的に「差別」につながっていることがあるため、それに気づくためにも、法律や条例といった「ものさし」が必要になると示唆されました。



また、障害のある人が、「合理的配慮」を求めた時、提供する側は、過重な負担が伴わない範囲で対応しますが、ここで重要なのが、「障害特性への理解」です。

障害といっても、知的、身体、視覚、聴覚、精神、難病等と、見た目ではわかる、わからないといった

たことをはじめ、個人個人の違いがあります。周囲の関わりや、対応次第で、その人の障害が大きくなったり、小さくなったりすることもありますが、ひとり、ひとりの障害特性に合った配慮を、皆で一緒に考えていく必要があるとのことでした。

「〇〇のために」ではなく、「〇〇と共に」と考える

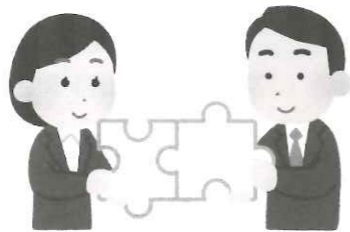
地域相談員のもとに、「差別された」と相談があった時には、広域相談員を紹介し、解決に向けた関係者の調整が行われます。ここで解決できない深刻な事案は、調整委員会による助言・あっせん等が行われます。

実際に、県の相談室には、「差別されました」という相談よりも、「どのように対応したら良いですか？」といった、提供する側からの問い合わせが多いとのことでした。

差別にあたるのか？どうしたらいいのか？こんな良い事例がありました…など、どんなご相談でも、情報でも、お気軽にご連絡くださいと、お話しされました。

「障害者のために、何ができるか」という、〇〇してあげるとい

う上から目線ではなく、「障害者と共に何ができるか」と、考えたり、気づけたりすると良いですね、という言葉が心に残りました。



### 参加者アンケートより

◆合理的配慮が、これからもっといろんな場所に広がれば、本人も、付添者（親も含め）、対応する側も助かると思います。

◆「合理的配慮」を新語・流行語大賞に!?言葉や理念が社会に認知され、社会通念として社会を照らすようになれば、障害者に対する差別は格段と減少すると思います。

◆地元での啓発活動の必要性を強く感じました。

### 講演②

「障害福祉施策の動向について」

続いて、障害福祉課・杉田係長より、障害福祉施策の動向について、お話ししていただきました。

富山県の知的障害者数とサービス利用の状況は、年々、療育手帳の保持者が増えており、重度・中度の方が60%以上を占め、生活介護、就労支援継続B型の利用者が多いというデータを示されました。

また、気になる「障害者総合支援法等の改正」については、ご説明いただいた改正点の中で、参加者の興味は、次の3点に集中しました。

### ◎「自立生活援助」

障害者支援施設やグループホームなどを利用して、これから一人暮らしを希望する人などを支援するサービスの創設は、いろいろな暮らし方、自立の可能性を広げられると思われま

### ◎「就労定着支援」

就労に伴う生活面の課題（生活リズム、体調管理、給料の浪費等）に対応できるよう、事業所・家族

との連絡調整等の支援を一定期間にわたり行うサービス。環境変化等に伴う、見守り体制として、期待が持てま

### ◎「高齢障害者の介護保険サービス」

障害福祉サービス事業所かつ、介護保険事業所という形態を持ち、利用者負担（1割）の軽減や、障害特性を理解した、通いながら事業所で、介護保険サービスを受けられることができるといった、可能性があります。

いずれも、育成会でも気になる分野の情報でした。

具体的な内容は、これから平成三十年の施行に向け、制度を煮詰めて細かい部分を決めていく作業の真っ只中です。このことについては、育成会としても、研修会等で取り上げるなど、注目していきたいと思

### 活動事例の発表

「氷見支部 小川 隆氏」

氷見市育成会では、市の福祉課、社会福祉協議会と連携し、成年後

見相談会を年3回実施しています。これまで、家族や本人が気軽に立ち寄れる相談先がなかったため、成年後見制度のみならず、いろいろな事案についての相談場所となっているそうです。

「となみエリア 尾崎 順子氏」

小矢部・砺波・南砺市の作業所相談室を会場に、知的障害者相談員、相談支援専門員、就労支援ワーカー、成年後見相談員、福祉課、社協等が連携して、「すまいる相談会」を開催しています。

不登校、家庭内暴力、引きこもり、障害年金取得、制度の説明、余暇活動、成年後見、高齢化問題、金銭管理と、寄せられる相談は多種多様ですが、関係機関の連携により、スムーズなサービス利用や、的確な相談窓口の紹介などに結び



# 全国手をつなぐ育成会連合会 「第5回権利擁護セミナー」

## 高齢化対策、 残して行く子の幸せのために

— 遺言、意思決定支援、成年後見 —

11/8<sup>火</sup> 10:30~16:00  
サンズップとやま 1階 福祉ホール  
(富山市安住町5番21号)

### 「親亡き後」の子どもの生活

どうする？ 遺言・相続

兄弟姉妹がいるから大丈夫？

意思決定支援

消費トラブル・詐欺被害



必要？不要？「成年後見制度」

どこで生活する？

いつまでも同じように暮らせるの？

お金の管理

健康問題

老障介護、障老介護への不安

### ～「子ども」の将来、誰に託す？「親」ができることは？～

全国手をつなぐ育成会連合会の「権利擁護セミナー」が、富山で開催されます。テーマは、誰もが気になる「高齢化対策」。親亡きあとも、わが子が幸せに暮らしていけるよう社会に託すために、親ができること、高齢化に向けた準備、育成会ができることを一緒に考えてみましょう。これまで、全国大会やセミナーに参加したくても、遠くてあきらめていた貴方・・・この機会を見逃さないでください、みんなで、会場を満員にしましょう！

(※ご参加の皆様には、現在、全国育成会・権利擁護委員会が製作中の冊子をお渡しいたします。)

(※参加お申込み、プログラム等の詳細につきましては、後日、別途ご案内いたします。)

## 地域事業所部会「運営研修会」

<午前> 講師 杉田 尚美 氏

富山県厚生部障害福祉課 自立支援係長

<午後> 講師 片桐 公彦 氏

(社福) みんなでいきる 副理事長、NPO 法人  
全国地域生活支援ネットワーク 副代表理事

今回は、今後の事業所運営の在り方と、「地域生活拠点整備」や、「利用者の高齢化対策」等について、幅広く研修するとともに、各法人の近況等について意見交換を行いました。

参加事業所：(社福) にかわ苑、NPO 法人わかきさ会、(社福) けやき苑、NPO 法人富山あさひ会、(社福) 手をつなぐ高岡、(社福) 手をつなぐとなみ野。

午前中は、県障害福祉課より杉田係長を講師にお迎えし、障害者福祉施策の動向について講演していただきました。具体的な数値を基に、県内の障害者の状況と、サービス別の利用状況、「障害者総合支援法」の改正等について、わかりやすくお話ししていただくと共に、懇談の時間も持っていたいただきました。

午後からの講師には、新潟県より片桐公彦さんにお越しいただきました。

片桐さんは、新潟県上越市で「社会福祉法人りとららいふ」を設立、中でも、地域で障害者を支える体制づくりモデル事業、「安心コールセン

ター」の運営で、障害のある人のみならず、地域の子どもから、高齢者まで、24時間365日をサポートしています。

そして、平成26年には、特別養護老人ホームを運営する法人と合併し、「社会福祉法人みんなでいきる」の副理事長として、ご活躍中です。



総合支援法3年後の見直しを踏まえ、これからの事業所運営について、厳しく熱く、人材確保から育成、資金繰り、事業計画等、ポイントを絞っ

てお話ししていただきました。

特に、高齢障害者の介護保険サービスの利用と、地域生活支援拠点については、厚生労働省の「障害者の地域生活の推進に関する検討会」構成員としての豊富な知識を基に、今後、どのような方向に展開されていくのか、実際に運営するとならば、どのような機能を持たせるのが理想なのか等、たくさんヒント、助言をいただきました。

講演の後には、各法人の決算・予算書、計画書を持ち寄り、各法人の課題、今後の計画等を報告し、片桐氏よりアドバイスをいただく時間をもちました。

参加者からは「是非、定例会に！」という声も飛び出し、思わず片桐氏が苦笑いする場面もありました。

先を見据え、適格な視点を持った片桐さんのお話しに、参加者一同、大きな刺激を受け、熱意をいっぴいにして会場を後にしました。

明日からの、よりよい事業所運営と利用者支援に役立てていただきたいと思います。

平成28年度 収支予算

平成28年4月1日～平成29年3月31日

【運営の部】  
(収入の部)

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 平成27年度予算額, 平成27年度決算額, 平成28年度予算額, 備考. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

(支出の部)

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 平成27年度予算額, 平成27年度決算額, 平成28年度予算額, 備考. Rows include 一般管理費, 全国年会費, 事業費, 予備費, 繰越金, 合計.

【保険料の部】

(収入の部)

(単位：円)

Table with 3 columns: 科目, 平成28年度予算額, 備考. Row: 保険料.

(支出の部)

(単位：円)

Table with 3 columns: 科目, 平成28年度予算額, 備考. Row: 保険料.

サポート協会3事業申請は、6月末で受付を終了しましたが、予算の範囲内で追加申請を受付いたします。(9月30日締切)

詳細は、生活サポート協会事務局（県育成会事務局内）へお問い合わせください。

富山県知的障害児者生活サポート協会だより

平成27年度 収支決算報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 平成27年度予算額, 平成27年度決算額, 比較増減(決算-予算), 備考. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

支出の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 平成27年度予算額, 平成27年度決算額, 比較増減(決算-予算), 備考. Rows include 一般管理費, 全国年会費, 事業費, 予備費, 繰越金, 合計.

平成27年度 事業報告

1. サポート協会3事業

- 日常生活相談支援事業 実施件数 18件 820,000円
就労相談支援事業 エリア助成...2エリア実施 230,000円
権利擁護相談支援事業 エリア助成...2エリア実施 260,000円

2. 知的障害者相談員研修

- 役員・支部長・相談員合同研修会（県育成会と共催）
平成27年7月1日(水) 「とやま版 あんしんサポートノート研修会」
平成27年11月11日(水) 「知的障害理解に関する研修会～警察プロジェクト～」



全額、全国手をつなぐ育成会連合会へ送金いたしました。

(県大会での募金活動 26,590円含む)

1,400,309円

あたたかいご協力・ご支援をありがとうございます。

### 熊本地震 義援金

### 「心のとも運動」鉛筆等頒布のご協力ありがとうございます

県内の小・中・高の生徒、先生、保護者の皆様、毎年、知的障害のある人達へのご理解・ご支援の一環として、鉛筆等頒布「心のとも運動」にご協力いただき、ありがとうございます。

平成27年度も、皆さまの多大なご協力を賜り、当会では事業を充実させることができました。厚くお礼申し上げます。

なお、収益金のうち、134,000円を県特別支援教育研究会（県立となみ総合支援学校内）に助成させていただきました。

**合計 774,732 円** 県特別支援教育研究会に134,000円助成

平成28年度につきましても、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

|      |    | 鉛筆     | 赤鉛筆 | 多機能<br>ペン | 替芯  | 消ゴム   | マーカー<br>ペン | ネーム<br>ペン | ボール<br>ペン |
|------|----|--------|-----|-----------|-----|-------|------------|-----------|-----------|
| 小学校  | 個数 | 9,930  | 664 | 279       | 143 | 1,844 | 300        | 1,068     | 188       |
|      | 校数 | 64     | 57  | 56        | 47  | 62    | 56         | 63        | 52        |
| 中学校  | 個数 | 1,299  | 47  | 129       | 242 | 982   | 106        | 394       | 38        |
|      | 校数 | 16     | 11  | 15        | 14  | 15    | 15         | 15        | 6         |
| 高等学校 | 個数 | 1,477  | 78  | 117       | 164 | 572   | 117        | 362       | 45        |
|      | 校数 | 22     | 18  | 21        | 22  | 22    | 21         | 22        | 12        |
| 計    | 個数 | 12,706 | 789 | 525       | 549 | 3,398 | 523        | 1,824     | 271       |
|      | 校数 | 102    | 86  | 92        | 83  | 99    | 92         | 100       | 70        |

### 育成会の動き

| 期 日         | 内 容                                  | 期 日         | 内 容                                   |
|-------------|--------------------------------------|-------------|---------------------------------------|
| <b>【報告】</b> |                                      | 7/7(木)      | 北陸地区知的障害関係施設職員研究大会<br>(サンシップとやま)      |
| 5/10(火)     | 県障害者スポーツ協会理事会 (県民会館)                 | 7/12(火)     | 県民福祉推進会議 (サンシップとやま)                   |
| 5/12(木)     | 共同募金助成決定書交付式 (サンシップとやま)              | 7/13(水)     | サポート協会 理事会・審査会 (サンシップとやま)             |
| 5/15(日)     | 県障害者スポーツ大会 陸上競技会 (総合運動公園)            | 7/14(木)     | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)                |
| 5/17(火)     | 東海北陸手をつなぐ育成会協議会 理事会 (高山)             | 7/22(金)     | 役員・支部長・相談員等合同研修会 (サンシップとやま)           |
| 〃           | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)               | 7/29(金)     | 福祉フォーラム プロポーザル選定審査委員会<br>(サンシップとやま)   |
| 5/19(木)     | 県議会自民党政調会 [平成28年度予算要望回答]<br>(県民会館)   | 7/31(日)     | 研修会「グループホームってどんなところ？」<br>(サンシップとやま)   |
| 5/24(火)     | 全国サポート協会社員総会 (東京)                    | <b>【予定】</b> |                                       |
| 5/26(木)     | 県社会福祉協議会 評議員会 (サンシップとやま)             | 8/2・3       | 障害者相談員 (3障害) 活動強化研修会 (金太郎温泉)<br>(火・水) |
| 〃           | 県特別支援教育研究会全体研修会 (市町村会館)              | 8/7(日)      | 本人部会 (サンシップとやま)                       |
| 5/31(火)     | サポート協会理事会 (サンシップとやま)                 | 8/20(土)     | 地域事業所部会 職員研修会 (呉羽ハイツ)                 |
| 〃           | とやま地域共生型福祉推進特区地域協議会 (県民会館)           | 9/7(水)      | ふれあいスポーツ大会 にかわ地区                      |
| 6/5(日)      | 富山県手をつなぐ育成会大会 (クロスランドおやべ)            | 9/16(金)     | ふれあいスポーツ大会 射水・高岡・氷見地区                 |
| 6/8(水)      | 県障害者社会参加推進協議会 (サンシップとやま)             | 9/29(木)     | ふれあいスポーツ大会 富山地区                       |
| 6/16(木)     | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)               | 〃           | ふれあいスポーツ大会 となみ地区                      |
| 6/17(金)     | 善意銀行総会 (富山電気ビル)                      | 10/15・16    | 東海北陸大会 (高山市)<br>(土・日)                 |
| 6/21(火)     | 全国手をつなぐ育成会連合会総会 (東京)                 | 10/22~24    | 全国障害者スポーツ大会 (岩手県)<br>(土~月)            |
| 6/25(土)     | 役員・支部長・相談員等合同研修会 (呉羽ハイツ)             | 11/6(日)     | 県民共生フォーラム (ファボーレ)                     |
| 6/28(火)     | 地域事業所部会 運営研修会 (呉羽ハイツ)                | 11/8(火)     | 全育連・権利擁護セミナー (サンシップとやま)               |
| 7/1(金)      | 共生フォーラム プロポーザル選定審査委員会<br>(北日本スクエアビル) | 11/12(土)    | 福祉フォーラム                               |
| 7/2・3       | 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 (横浜市)<br>(土・日)    |             |                                       |
| 7/5(火)      | 県社会福祉審議会 福祉基本計画専門分科会<br>(県民会館)       |             |                                       |

ひとりひとりが 考える 実践活動

全額、全国手をつなぐ育成会連合会へ送金いたしました。

(県大会での募金活動 26,590円含む)

1,400,309円

あたたかいご協力・ご支援をありがとうございます。

### 熊本地震 義援金

### 「心のとも運動」鉛筆等頒布のご協力ありがとうございます

県内の小・中・高の生徒、先生、保護者の皆様、毎年、知的障害のある人達へのご理解・ご支援の一環として、鉛筆等頒布「心のとも運動」にご協力いただき、ありがとうございます。

平成27年度も、皆さまの多大なご協力を賜り、当会では事業を充実させることができました。厚くお礼申し上げます。

なお、収益金のうち、134,000円を県特別支援教育研究会（県立となみ総合支援学校内）に助成させていただきました。

**合計 774,732 円** 県特別支援教育研究会に134,000円助成

平成28年度につきましても、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

|      |    | 鉛筆     | 赤鉛筆 | 多機能<br>ペン | 替芯  | 消ゴム   | マーカー<br>ペン | ネーム<br>ペン | ボール<br>ペン |
|------|----|--------|-----|-----------|-----|-------|------------|-----------|-----------|
| 小学校  | 個数 | 9,930  | 664 | 279       | 143 | 1,844 | 300        | 1,068     | 188       |
|      | 校数 | 64     | 57  | 56        | 47  | 62    | 56         | 63        | 52        |
| 中学校  | 個数 | 1,299  | 47  | 129       | 242 | 982   | 106        | 394       | 38        |
|      | 校数 | 16     | 11  | 15        | 14  | 15    | 15         | 15        | 6         |
| 高等学校 | 個数 | 1,477  | 78  | 117       | 164 | 572   | 117        | 362       | 45        |
|      | 校数 | 22     | 18  | 21        | 22  | 22    | 21         | 22        | 12        |
| 計    | 個数 | 12,706 | 789 | 525       | 549 | 3,398 | 523        | 1,824     | 271       |
|      | 校数 | 102    | 86  | 92        | 83  | 99    | 92         | 100       | 70        |

### 育成会の動き

| 期 日         | 内 容                                  | 期 日         | 内 容                                   |
|-------------|--------------------------------------|-------------|---------------------------------------|
| <b>【報告】</b> |                                      | 7/7(木)      | 北陸地区知的障害関係施設職員研究大会<br>(サンシップとやま)      |
| 5/10(火)     | 県障害者スポーツ協会理事会 (県民会館)                 | 7/12(火)     | 県民福祉推進会議 (サンシップとやま)                   |
| 5/12(木)     | 共同募金助成決定書交付式 (サンシップとやま)              | 7/13(水)     | サポート協会 理事会・審査会 (サンシップとやま)             |
| 5/15(日)     | 県障害者スポーツ大会 陸上競技会 (総合運動公園)            | 7/14(木)     | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)                |
| 5/17(火)     | 東海北陸手をつなぐ育成会協議会 理事会 (高山)             | 7/22(金)     | 役員・支部長・相談員等合同研修会 (サンシップとやま)           |
| 〃           | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)               | 7/29(金)     | 福祉フォーラム プロポーザル選定審査委員会<br>(サンシップとやま)   |
| 5/19(木)     | 県議会自民党政調会 [平成28年度予算要望回答]<br>(県民会館)   | 7/31(日)     | 研修会「グループホームってどんなところ？」<br>(サンシップとやま)   |
| 5/24(火)     | 全国サポート協会社員総会 (東京)                    | <b>【予定】</b> |                                       |
| 5/26(木)     | 県社会福祉協議会 評議員会 (サンシップとやま)             | 8/2・3       | 障害者相談員 (3障害) 活動強化研修会 (金太郎温泉)<br>(火・水) |
| 〃           | 県特別支援教育研究会全体研修会 (市町村会館)              | 8/7(日)      | 本人部会 (サンシップとやま)                       |
| 5/31(火)     | サポート協会理事会 (サンシップとやま)                 | 8/20(土)     | 地域事業所部会 職員研修会 (呉羽ハイツ)                 |
| 〃           | とやま地域共生型福祉推進特区地域協議会 (県民会館)           | 9/7(水)      | ふれあいスポーツ大会 にかわ地区                      |
| 6/5(日)      | 富山県手をつなぐ育成会大会 (クロスランドおやべ)            | 9/16(金)     | ふれあいスポーツ大会 射水・高岡・氷見地区                 |
| 6/8(水)      | 県障害者社会参加推進協議会 (サンシップとやま)             | 9/29(木)     | ふれあいスポーツ大会 富山地区                       |
| 6/16(木)     | TDF 事務局会議 (県聴覚障害者センター)               | 〃           | ふれあいスポーツ大会 となみ地区                      |
| 6/17(金)     | 善意銀行総会 (富山電気ビル)                      | 10/15・16    | 東海北陸大会 (高山市)<br>(土・日)                 |
| 6/21(火)     | 全国手をつなぐ育成会連合会総会 (東京)                 | 10/22~24    | 全国障害者スポーツ大会 (岩手県)<br>(土~月)            |
| 6/25(土)     | 役員・支部長・相談員等合同研修会 (呉羽ハイツ)             | 11/6(日)     | 県民共生フォーラム (ファボーレ)                     |
| 6/28(火)     | 地域事業所部会 運営研修会 (呉羽ハイツ)                | 11/8(火)     | 全育連・権利擁護セミナー (サンシップとやま)               |
| 7/1(金)      | 共生フォーラム プロポーザル選定審査委員会<br>(北日本スクエアビル) | 11/12(土)    | 福祉フォーラム                               |
| 7/2・3       | 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 (横浜市)<br>(土・日)    |             |                                       |
| 7/5(火)      | 県社会福祉審議会 福祉基本計画専門分科会<br>(県民会館)       |             |                                       |

ひとりひとりが 考える 実践活動